

様式

委員会規則第4条第1項に基づく届出書

平成28年10月5日

1. 執行機関の別	2: 教育委員会
2. 都道府県名	北海道
3. 市区町村名	豊富町
4. 届出番号	1
5. 独自利用事務の事例番号	113-3-1(2)
6. 届出書を公表しているウェブページのアドレス	<a href="http://www.town.toyotomi.hokkaido.jp/section/soumuka/a7cug6000000rc7.html">http://www.town.toyotomi.hokkaido.jp/section/soumuka/a7cug6000000rc7.html</a>

執行機関名 豊富町教育委員会

知事等(教育委員会)が行う就学援助に関する事務(小学校・中学校向け、ただし医療費は除く。)

1. 準ずる法定事務の名称と趣旨又は目的の内容等

	(1)法定事務	(2)独自利用事務
①事務の名称	高等学校等就学支援金の支給に関する法律による就学支援金の支給に関する事務であって主務省令で定めるもの	経済的理由により就学することが困難と認められる児童生徒の保護者に対する就学援助の実施に関する事務であって規則で定めるもの
②番号法別表第1の項	91	
③番号法別表第2の項	113	
④番号法第9条第2項に基づき定める条例の名称及び①の該当部分		豊富町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例 別表第1 第3の項 経済的理由により就学することが困難と認められる児童生徒の保護者に対する就学援助の実施に関する事務であって規則で定めるもの
⑤事務の趣旨又は目的が規定されている箇所	高等学校等就学支援金の支給に関する法律(平成二十二年法律第十八号)第1条	豊富町要保護及び準要保護児童生徒就学援助費事務取扱要綱(平成二十七年教育長決定)第1条
⑥事務の趣旨又は目的	第一条 この法律は、高等学校等の生徒等がその授業料に充てるために高等学校等就学支援金の支給を受けることができることとすることにより、高等学校等における教育に係る経済的負担の軽減を図り、もって教育の機会均等に寄与することを目的とする。	第一条 この要綱は、学校教育法(昭和22年法律第26号)第19条の規定に基づき経済的理由により就学することが困難と認められる児童生徒の保護者に対し、就学に必要な援助(以下「就学援助」という。)を行い、町内の小学校及び中学校における義務教育の円滑な執行を図るため定めるものとする。
⑦独自利用事務の関連規範		豊富町要保護及び準要保護児童生徒就学援助費事務取扱要綱(平成二十七年教育長決定)